

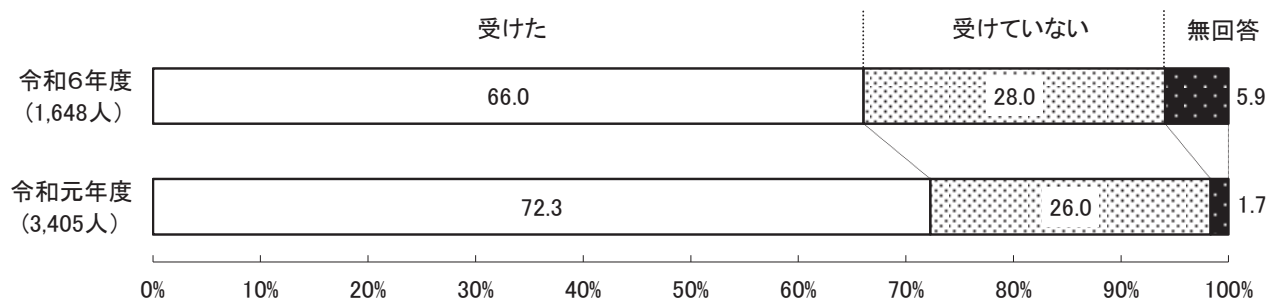
第4章 特定健康診査・特定保健指導の状況

集計対象世帯員（20歳以上）2,658人のうち、40歳以上75歳未満の1,648人が調査対象

1 過去1年間の特定健康診査の受診の有無

過去1年間に、特定健康診査（※）を受診したか聞いたところ、「受けた」割合が66.0%、「受けていない」が28.0%となっている。（図Ⅱ-4-1）

図Ⅱ-4-1 過去1年間の特定健康診査の受診の有無



（注1）加入する医療保険者が実施する特定健康診査のほか、職場の事業主が実施する定期健康診断や人間ドックにおいて受けている場合も含む。

（注2）がん検診のみの受診、妊産婦健診、歯の健康診査、病院や診療所で行う診療としての検査は含まない。

※ 特定健康診査

医療保険者は、40～74歳の加入者（被保険者及び被扶養者）に対し、特定健康診査（メタボリックシンドロームに着目した検査項目での健康診査）を行うものとされている。ただし、加入者が人間ドック等で特定健康診査に相当する検査を受け、その結果を証明する書面の提出があった場合は、特定健康診査を受けたものとみなされる。

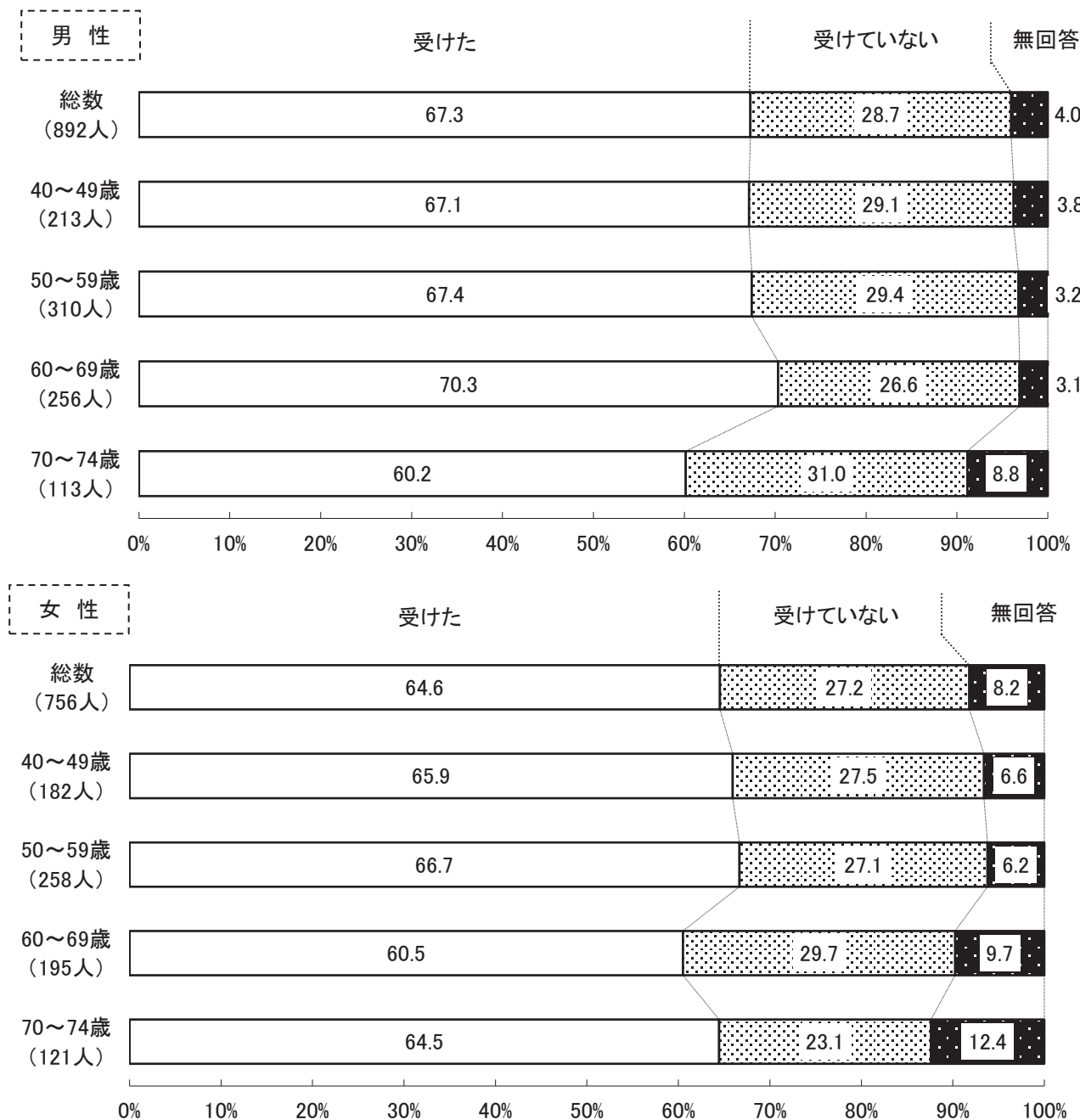
また、加入者が、労働安全衛生法（昭和47年法律第57号）その他の法令に基づき行われる特定健康診査に相当する健康診断を受けた場合又は受けることができる場合は、特定健康診査の全部又は一部を行ったものとする」とされている。

(1) 過去1年間の特定健康診査の受診の有無一性・年齢階級別

特定健康診査を受けた割合は、男女とも6割超

過去1年間の特定健康診査の受診の有無を性別でみると、特定健康診査を「受けた」割合は、男性67.3%、女性64.6%となっている。(図Ⅱ-4-2)

図Ⅱ-4-2 過去1年間の特定健康診査の受診の有無一性・年齢階級別



(2) 過去1年間の特定健康診査の受診の有無－就業状況別

特定健康診査を受けた割合は、労働力人口（仕事をしている、探している人）では約7割、非労働力人口（働いていない人）では5割超

過去1年間の特定健康診査の受診の有無を就業状況別にみると、特定健康診査を「受けた」割合は、労働力人口（仕事をしている、探している人）では68.7%、非労働力人口（働いていない人）では54.7%となっている。（表Ⅱ-4-1）

表Ⅱ-4-1 過去1年間の特定健康診査の受診の有無－就業状況別

	総 数	受 け た	受 け て い ない	無 回 答
総数	100.0 (1,648)	66.0	28.0	5.9
労働力人口	100.0 (1,260)	<u>68.7</u>	26.1	5.2
就業者	100.0 (1,243)	68.8	26.1	5.1
主に仕事をしている	100.0 (1,017)	69.3	25.9	4.8
主に家事で仕事もしている	100.0 (160)	65.0	26.9	8.1
主に学業で仕事もしている	100.0 (44)	70.5	27.3	2.3
その他	100.0 (22)	68.2	27.3	4.5
仕事を探していた	100.0 (17)	64.7	29.4	5.9
非労働力人口	100.0 (318)	<u>54.7</u>	36.5	8.8
家事・育児・介護	100.0 (103)	58.3	34.0	7.8
学業のみ	(100) (10)	30.0	70.0	—
働いていない	100.0 (205)	54.1	36.1	9.8
令和元年度	100.0 (3,405)	72.3	26.0	1.7

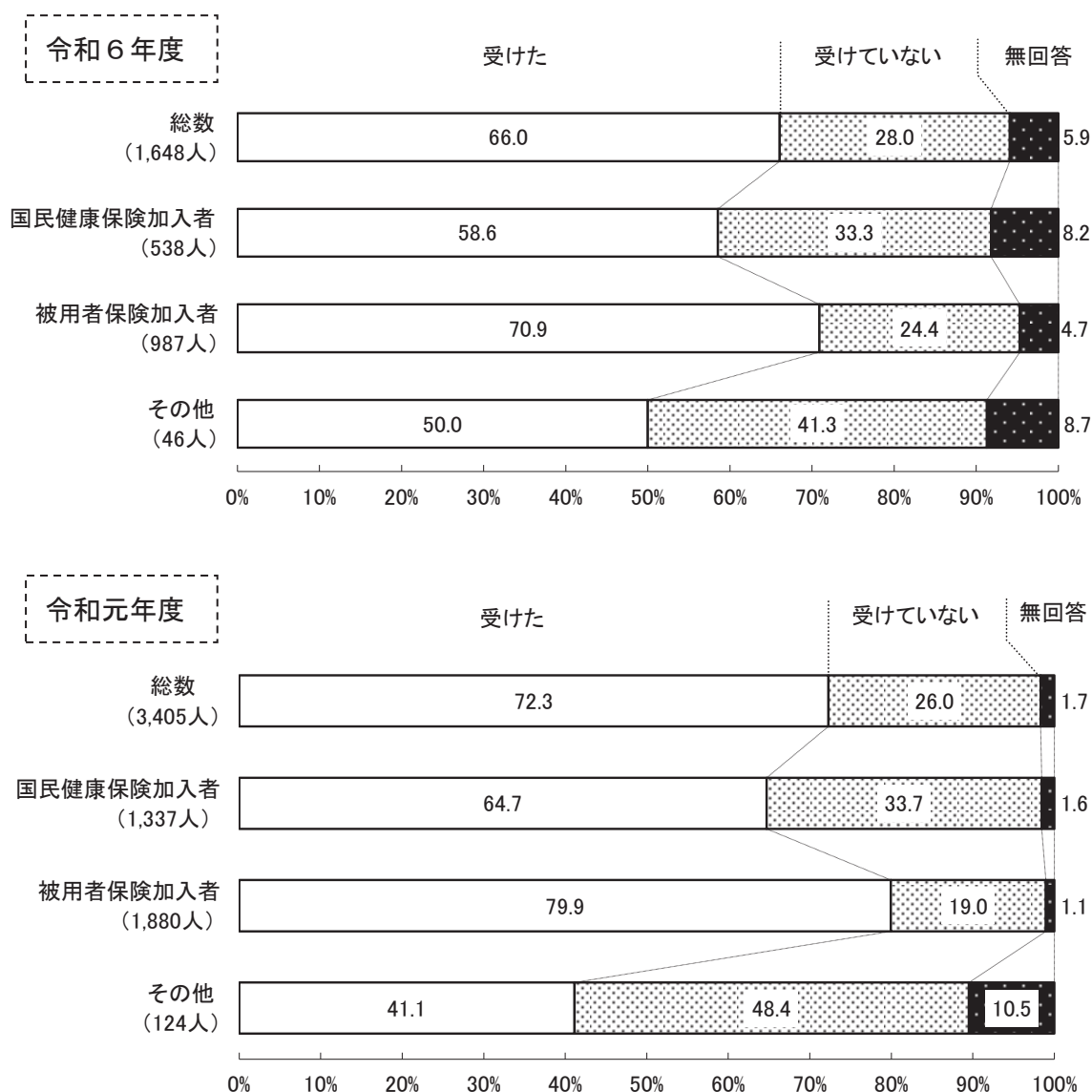
(3) 過去1年間の特定健康診査の受診の有無－医療保険の種類別

特定健康診査を受けた割合は、国民健康保険加入者では約6割、被用者保険加入者では約7割

過去1年間の特定健康診査の受診の有無を医療保険の種類別にみると、特定健康診査を「受けた」割合は、国民健康保険加入者では58.6%、被用者保険加入者では70.9%となっている。

(図Ⅱ-4-3)

図Ⅱ-4-3 過去1年間の特定健康診査の受診の有無－医療保険の種類別

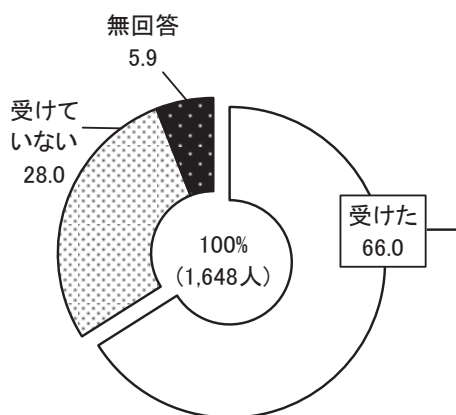


(注) 加入している医療保険の種類を「協会けんぽ」、「組合健保」、「共済組合」、「船員保険」と回答した人を「被用者保険加入者」として集計した。ただし、令和6年度調査の「船員保険」は母数が0人である。

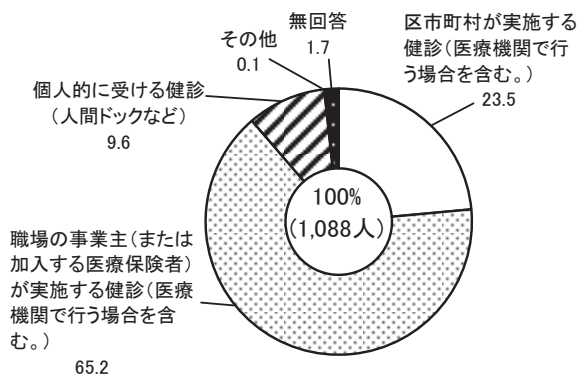
2 特定健康診査の種類、方法、時間帯

過去1年間に特定健康診査を受けた人(1,088人)に、特定健康診査の種類、方法、時間帯を聞いたところ、種類については、「職場の事業主(または加入する医療保険者)が実施する健診(医療機関で行う場合を含む)」の割合が65.2%、方法については、「個別健診(医療機関や健診機関等へ申込み、個別に受ける健診)」の割合が59.2%、時間帯については、「平日昼間(午後6時まで)」の割合が91.6%となっている。(図Ⅱ-4-4、図Ⅱ-4-5、図Ⅱ-4-6、図Ⅱ-4-7)

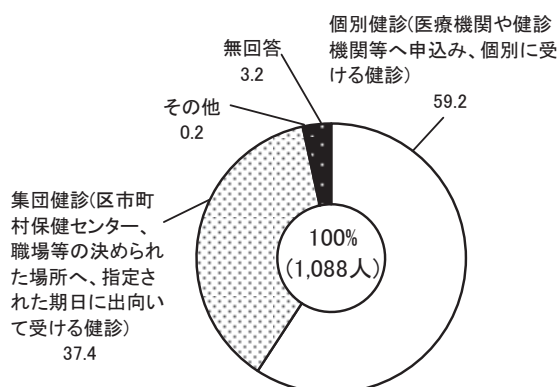
図Ⅱ-4-4 特定健康診査の受診の有無



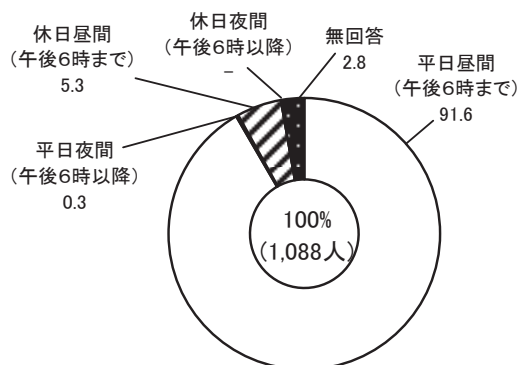
図Ⅱ-4-5 特定健康診査の種類



図Ⅱ-4-6 特定健康診査の方法



図Ⅱ-4-7 特定健康診査を受診した時間帯



(1) 特定健康診査の種類－就業状況別

主に仕事をしている人では、「職場の事業主が実施する健診」を受診した人が約8割

特定健康診査の種類を就業状況別にみると、主に仕事をしている人では、「職場の事業主（または加入する医療保険者）が実施する健診（医療機関で行う場合を含む）」の割合が78.4%となっている。

働いていない人では、「区市町村が実施する健診（医療機関で行う場合を含む）」の割合が75.7%となっている。（表Ⅱ-4-2）

表Ⅱ-4-2 特定健康診査の種類－就業状況別

	総 数	で 区 行 市 う 町 場 村 合 が を 実 含 施 む す る 健 ※ 診 （ 医 療 機 関	で 保 職 行 険 場 う 者 の 場 合 が を 実 主 含 施 す る 健 診 （ 医 療 機 関	（ 個 人 間 的 ド に ツ ク 受 け 健 診	そ の 他	無 回 答
総数	100.0 (1,088)	23.5	65.2	9.6	0.1	1.7
労働力人口	100.0 (866)	15.2	73.9	9.8	0.1	0.9
就業者	100.0 (855)	14.6	74.6	9.7	0.1	0.9
主に仕事をしている	100.0 (705)	11.2	78.4	9.4	0.1	0.9
主に家事で仕事もしている	100.0 (104)	27.9	57.7	12.5	－	1.9
主に学業で仕事もしている	100.0 (31)	16.1	71.0	12.9	－	－
その他	100.0 (15)	80.0	20.0	－	－	－
仕事を探していた	100.0 (11)	63.6	18.2	18.2	－	－
非労働力人口	100.0 (174)	63.8	24.1	8.0	－	4.0
家事・育児・介護	100.0 (60)	43.3	48.3	6.7	－	1.7
働いていない	100.0 (111)	75.7	10.8	9.0	－	4.5
令和元年度	100.0 (2,461)	27.6	55.4	8.3	0.3	8.5

（注1）非労働力人口のうち、「学業のみ（小・中・高・大学など）」は母数が0人のため省略した。

（注2）※は、令和元年度調査では「区市町村（又は区市町村国保）が実施する健診（医療機関で行う場合も含む）」としていた。

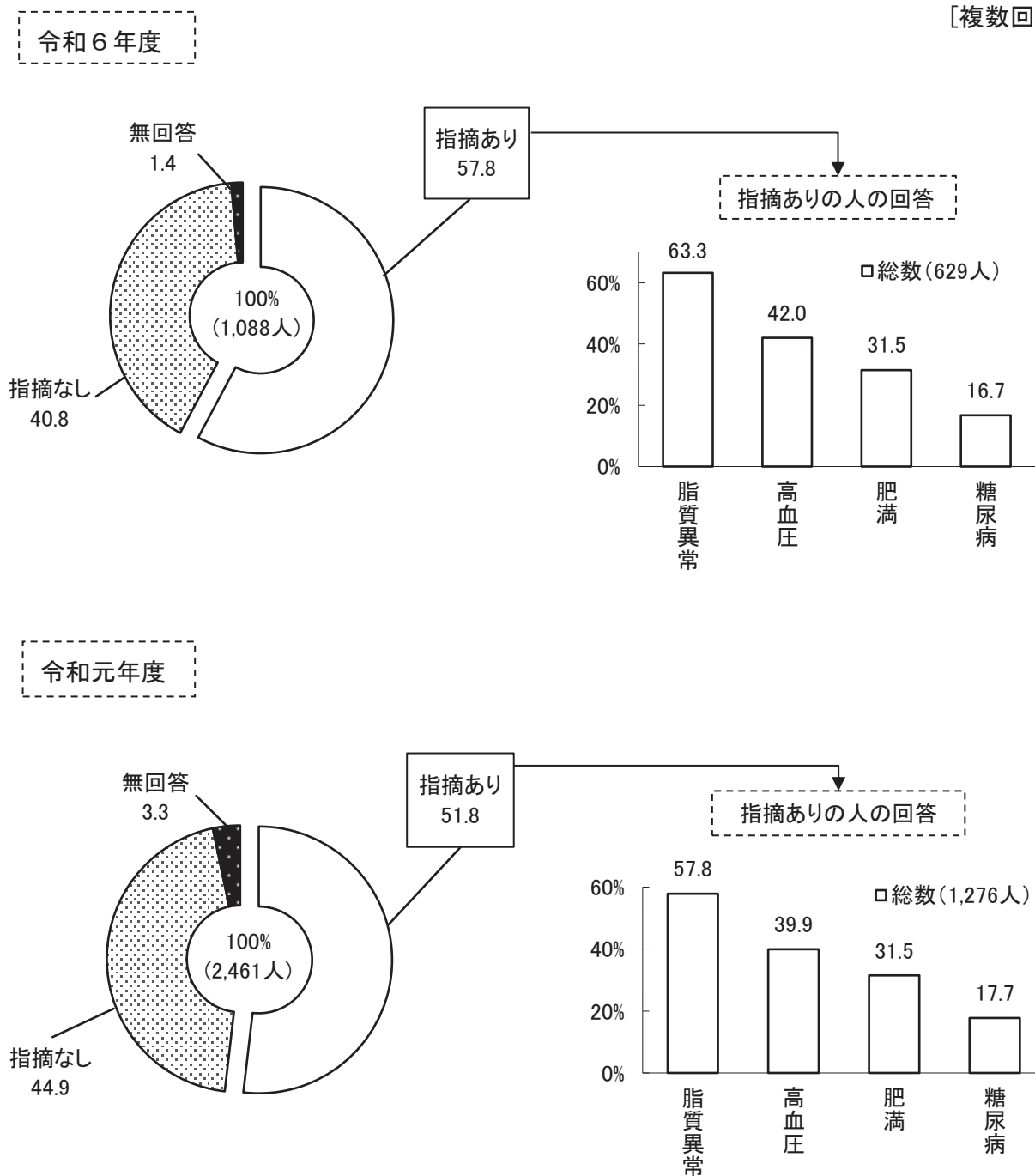
3 特定健康診査結果の指摘の有無と指摘内容〔複数回答〕

過去1年間に特定健康診査を受けた人（1,088人）に、「肥満」「高血圧」「糖尿病」「脂質異常（注）」のいずれかの指摘を受けたか聞いたところ、「指摘あり」の割合が57.8%、「指摘なし」が40.8%となっている。（図Ⅱ-4-8）

また、「指摘あり」と回答した人（629人）の指摘内容をみると、「脂質異常」の割合が63.3%と最も高く、次いで「高血圧」が42.0%、「肥満」が31.5%となっている。（図Ⅱ-4-9）

図Ⅱ-4-8 特定健康診査結果の指摘の有無

図Ⅱ-4-9 特定健康診査結果の指摘内容
〔複数回答〕



（注）脂質異常とは次のいずれかを指す。

- ・中性脂肪が高い、HDL コレステロールが低い、LDL コレステロールが高い。

(1) 特定健康診査結果の指摘の有無と指摘内容[複数回答]一性・年齢階級別

特定健康診査結果の「指摘あり」の割合は、男性の方が女性より 15.6 ポイント高い

特定健康診査結果の指摘の有無を性別でみると、「指摘あり」の割合は、男性 64.8%、女性 49.2%と、男性の方が 15.6 ポイント高くなっている。

性・年齢階級別にみると、50 代～60 代の男性及び 60 代の女性では、脂質異常の指摘が 4 割を超えている（40.0%～45.9%）。また、40 代女性では、「指摘なし」の割合が 70.0%となっている。（表Ⅱ-4-3）

表Ⅱ-4-3 特定健康診査結果の指摘の有無と指摘内容[複数回答]一性・年齢階級別

	総 数	指 摘 あ り	肥 満	高 血 圧	糖 尿 病	脂 質 異 常	指 摘 な し	無 回 答
総数	100.0 (1,088)	57.8	18.2	24.3	9.7	36.6	40.8	1.4
男	100.0 (600)	<u>64.8</u>	23.5	29.3	13.0	39.8	33.8	1.3
40～49歳	100.0 (143)	48.3	23.8	18.9	4.2	31.5	50.3	1.4
50～59歳	100.0 (209)	68.4	27.3	32.1	12.4	<u>45.9</u>	30.6	1.0
60～69歳	100.0 (180)	69.4	23.3	32.8	16.1	<u>40.0</u>	28.3	2.2
70～74歳	100.0 (68)	76.5	11.8	33.8	25.0	38.2	23.5	—
女	100.0 (488)	<u>49.2</u>	11.7	18.0	5.5	32.6	49.4	1.4
40～49歳	100.0 (120)	28.3	5.8	4.2	—	20.8	<u>70.0</u>	1.7
50～59歳	100.0 (172)	48.3	13.4	15.1	7.6	30.2	50.0	1.7
60～69歳	100.0 (118)	64.4	14.4	25.4	6.8	<u>44.1</u>	35.6	—
70～74歳	100.0 (78)	60.3	12.8	34.6	7.7	38.5	37.2	2.6

(2) 特定健康診査結果の指摘の有無と指摘内容[複数回答]－健康状態別

健康状態を「あまりよくない」と感じる人では、特定健康診査の結果「指摘あり」の割合が7割超

特定健康診査結果の指摘の有無を健康状態別にみると、健康状態を「あまりよくない」と感じる人では、「指摘あり」の割合が73.6%となっている。

また、健康状態を「よい」と感じる人では、「指摘なし」の割合が58.7%となっている。

(表Ⅱ-4-4)

表Ⅱ-4-4 特定健康診査結果の指摘の有無と指摘内容[複数回答]－健康状態別

	総 数	指 摘 あ り	肥 満	高 血 圧	糖 尿 病	脂 質 異 常	指 摘 な し	無 回 答
総数	100.0 (1,088)	57.8	18.2	24.3	9.7	36.6	40.8	1.4
よい	100.0 (167)	41.3	12.0	16.8	2.4	25.1	<u>58.7</u>	—
まあよい	100.0 (705)	57.4	16.3	22.3	7.5	36.5	40.7	1.8
あまりよくない	100.0 (197)	<u>73.6</u>	29.9	36.5	22.3	47.7	25.4	1.0
よくない	100.0 (16)	56.3	25.0	37.5	25.0	31.3	43.8	—

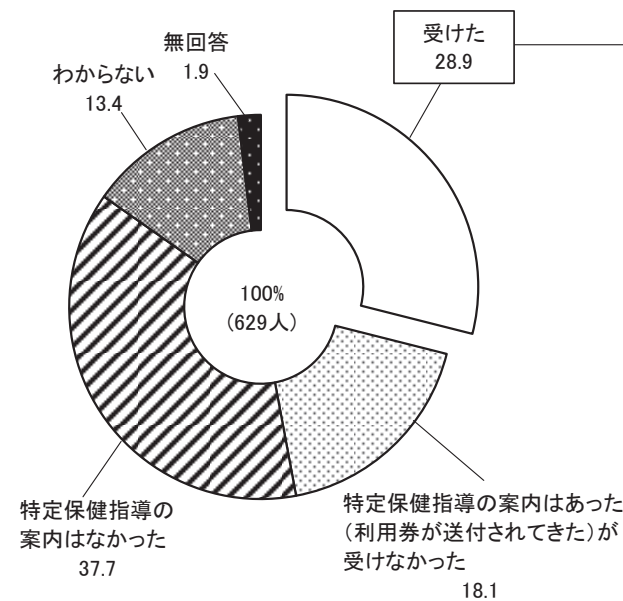
4 特定保健指導の有無と指導の種類、指導内容の実行の程度

特定健康診査の結果、「指摘あり」と回答した人（629人）に、特定保健指導（※）を受けたか聞いたところ、「受けた」の割合が28.9%となっている。一方で、「特定保健指導の案内はなかった」の割合は37.7%、「特定保健指導の案内はあった（利用券が送付されてきた）が受けなかった」は18.1%となっている。（図Ⅱ-4-10）

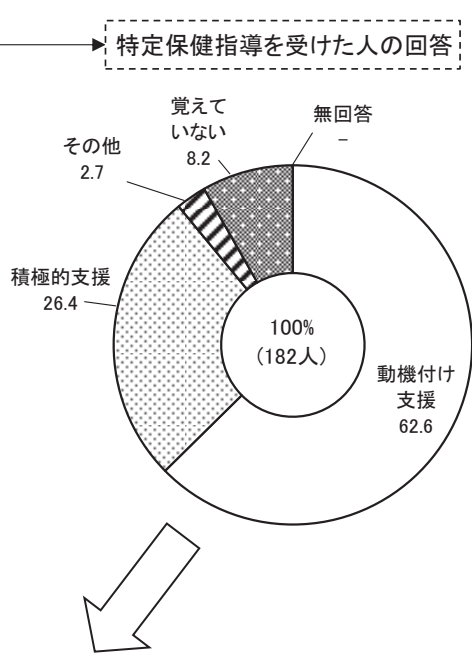
また、特定保健指導を受けた人（182人）に、指導の種類を聞いたところ、「動機付け支援」の割合が62.6%、「積極的支援」が26.4%となっている。（図Ⅱ-4-11）

さらに、特定保健指導で計画した内容をどの程度実行しているか聞いたところ、「おおむね実行している」の割合が37.4%、「一部実行している」が36.8%となっており、これらを合わせた割合は74.2%となっている。（図Ⅱ-4-12）

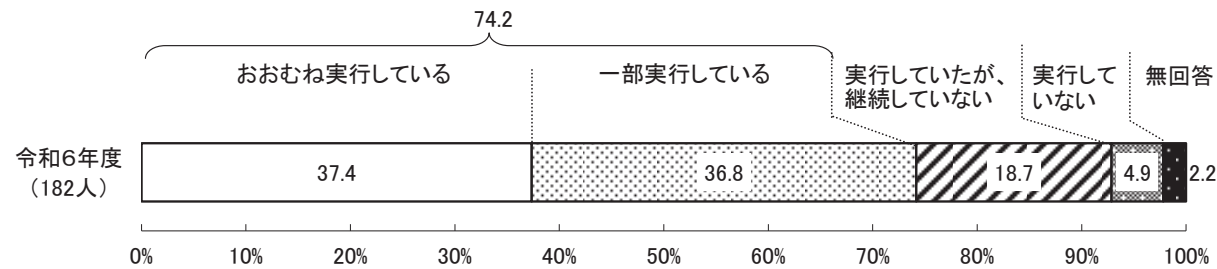
図Ⅱ-4-10 特定保健指導の有無



図Ⅱ-4-11 特定保健指導の種類



図Ⅱ-4-12 指導内容の実行の程度



※ 特定保健指導

<対象者>

腹囲	血糖、脂質、 血圧	喫煙歴	対象	
			40-64歳	65-74歳
男性85cm以上・ 女性90cm以上の方	2つ以上該当	あり	積極的 支援	動機付け 支援
	1つ該当			
男性85cm未満・ 女性90cm未満の方で、 BMI(体重(kg)/身長(m) ²) が25以上の方	3つ該当	あり	積極的 支援	動機付け 支援
	2つ該当			
	1つ該当			

<指導の種類>

- ・動機付け支援: 原則1回の保健指導を受ける。
- ・積極的支援: 3～6か月の間、複数回、継続的に保健指導(面接・電話・メールなど)を受ける。

(1) 特定保健指導の有無一性・年齢階級別

特定健康診査の結果で指摘があった人のうち、特定保健指導の対象となった割合は、男性では5割超、女性では3割超

特定保健指導の有無を性別でみると、特定健康診査の結果で指摘があった人のうち、「特定保健指導を受けた」と「特定保健指導の案内はあった（利用券が送付されてきた）が受けなかった」を合わせた特定保健指導の対象となった人の割合は、男性 55.3%、女性 33.8%となっている。（表Ⅱ-4-5）

表Ⅱ-4-5 特定保健指導の有無一性・年齢階級別

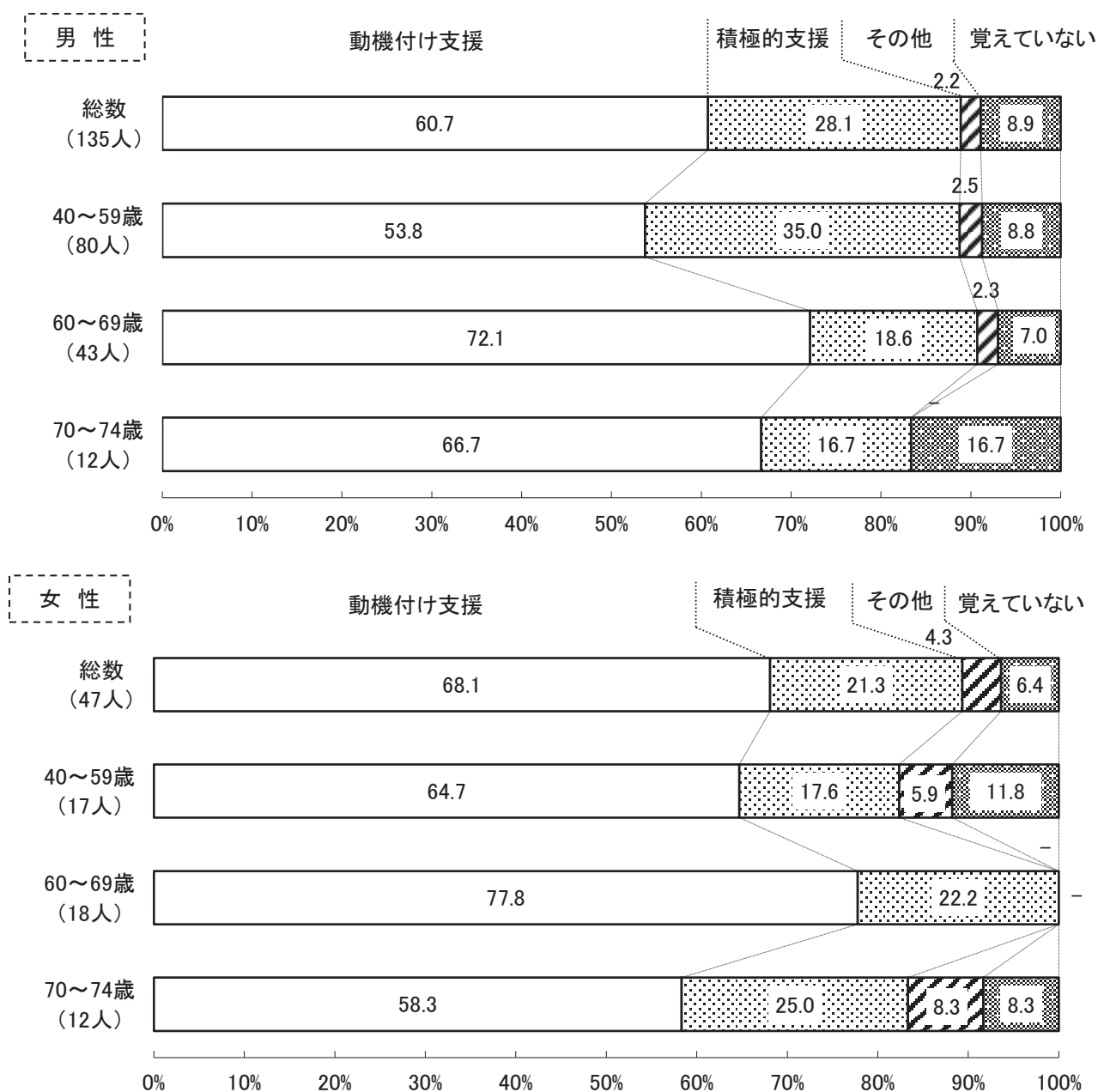
	総 数	特 定 保 健 指 導 を 受 け た	受（特 け利定 な用保 か券健 つが指 た送導 付の さ案 れ内 ては きあ つた ）が	特 定 保 健 指 導 の 案 内 は な か つ た	わ か ら な い	無 回 答
総数	100.0 (629)	28.9	18.1	37.7	13.4	1.9
男	100.0 (389)	34.7	20.6	29.6	12.9	2.3
		55.3				
40～49歳	100.0 (69)	47.8	20.3	18.8	13.0	—
50～59歳	100.0 (143)	32.9	20.3	31.5	13.3	2.1
60～69歳	100.0 (125)	34.4	17.6	29.6	15.2	3.2
70～74歳	100.0 (52)	23.1	28.8	38.5	5.8	3.8
女	100.0 (240)	19.6	14.2	50.8	14.2	1.3
		33.8				
40～49歳	100.0 (34)	14.7	23.5	47.1	14.7	—
50～59歳	100.0 (83)	14.5	15.7	50.6	19.3	—
60～69歳	100.0 (76)	23.7	11.8	50.0	13.2	1.3
70～74歳	100.0 (47)	25.5	8.5	55.3	6.4	4.3
令和元年度	100.0 (1,276)	25.1	16.8	37.5	13.4	7.2

(2) 特定保健指導の種類－性・年齢階級別

特定保健指導の種類は、「動機付け支援」の割合が男性約6割、女性約7割

特定保健指導の種類を性別でみると、「動機付け支援」の割合が男性 60.7%、女性 68.1%となっている。(図Ⅱ-4-13)

図Ⅱ-4-13 特定保健指導の種類－性・年齢階級別



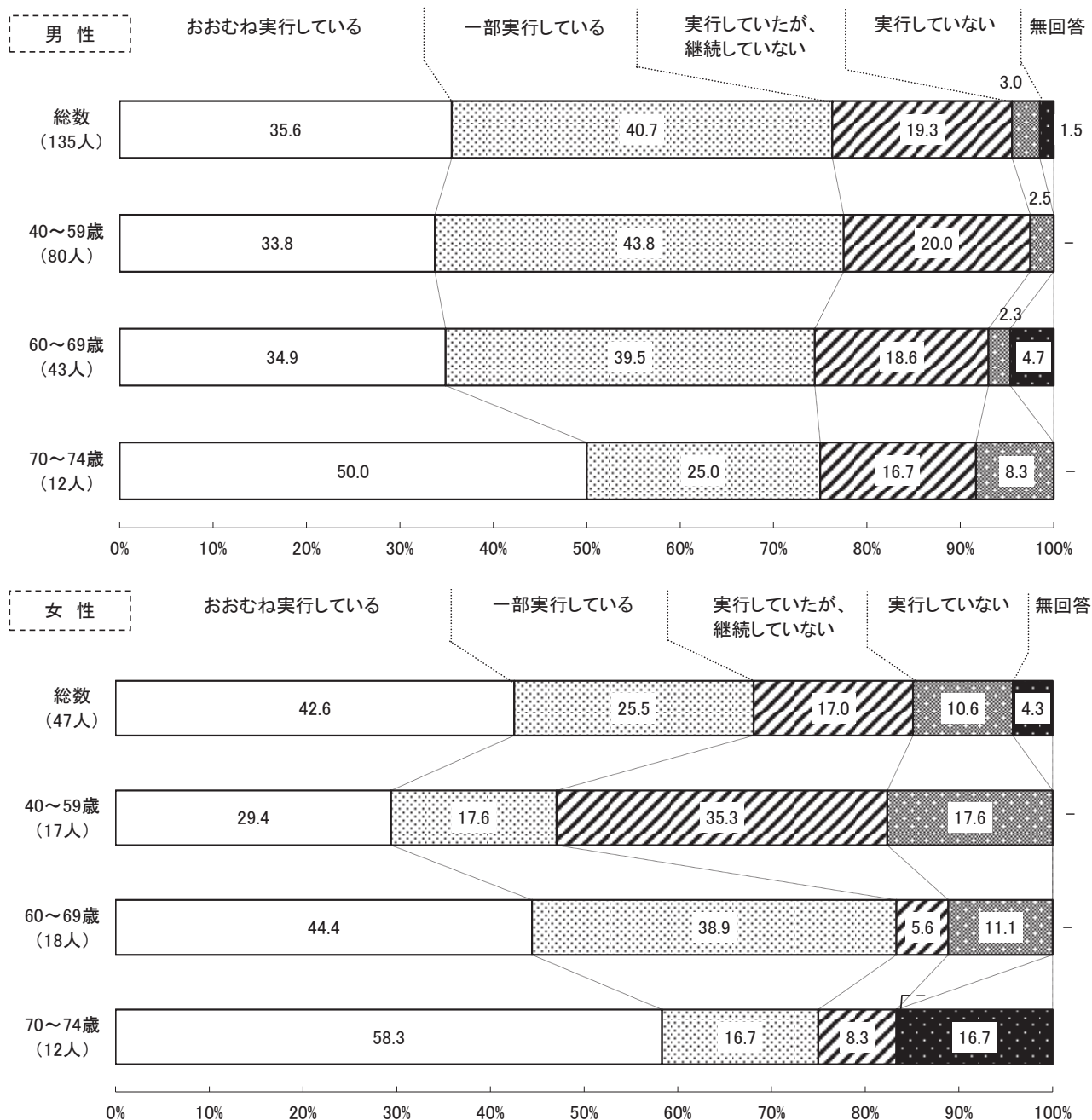
(注) 「特定健康診査及び特定保健指導の実施に関する基準」(厚生労働省令)では、65歳から74歳の方に対する特定保健指導については、「積極的支援」の対象となった場合でも「動機付け支援」とすることとされているが、本人の回答どおりに集計した。

(3) 特定保健指導内容の実行の程度－性・年齢階級別

特定保健指導の内容を「おおむね実行している」割合は、男性 35.6%、女性 42.6%

特定保健指導内容の実行程度を性別にみると、「おおむね実行している」割合は、男性 35.6%、女性 42.6%となっている。(図Ⅱ-4-14)

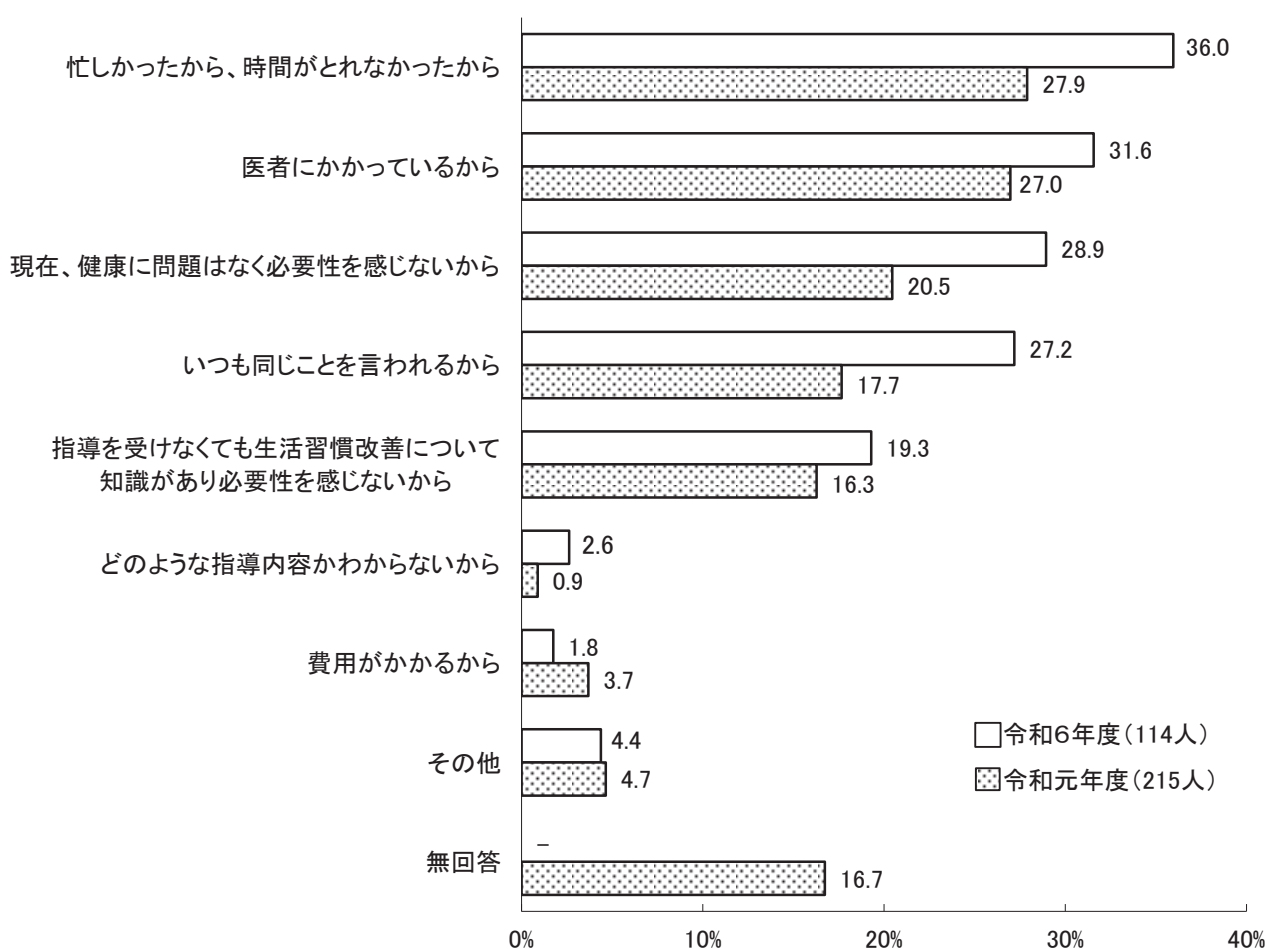
図Ⅱ-4-14 特定保健指導内容の実行の程度－性・年齢階級別



5 特定保健指導を受けなかった理由[複数回答]

特定保健指導の案内はあった（利用券が送付されてきた）が受けなかった人（114人）に、その理由を聞いたところ、「忙しかったから、時間がとれなかったから」の割合が36.0%、「医者にかかっているから」が31.6%となっている。（図Ⅱ-4-15）

図Ⅱ-4-15 特定保健指導を受けなかった理由[複数回答]



6 医療機関受診勧奨の有無と受診の有無

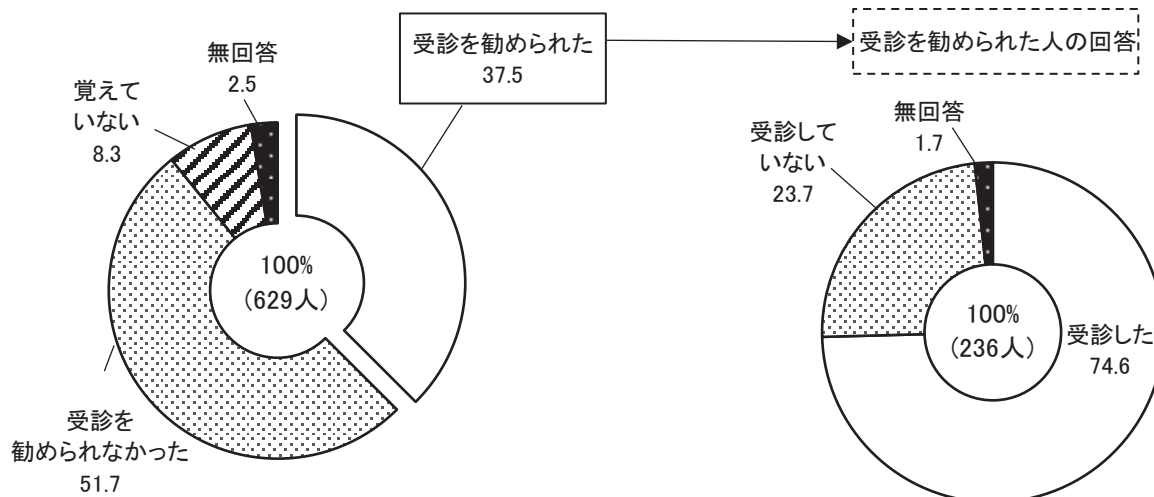
特定健康診査の結果、「指摘あり」と回答した人（629人）に、医療機関を受診するよう勧められたか聞いたところ、「受診を勧められた」人の割合は37.5%となっている。（図Ⅱ-4-16）

また、「受診を勧められた」人（236人）に、その後医療機関を受診したか聞いたところ、「受診した」人の割合は74.6%となっている。（図Ⅱ-4-17）

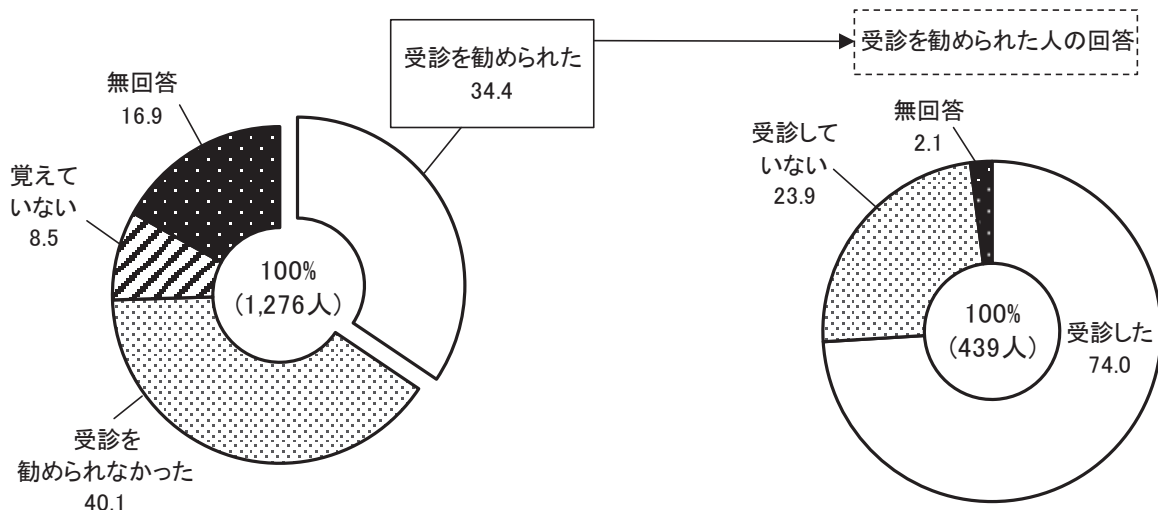
図Ⅱ-4-16 医療機関受診勧奨の有無

図Ⅱ-4-17 医療機関の受診の有無

令和6年度



令和元年度



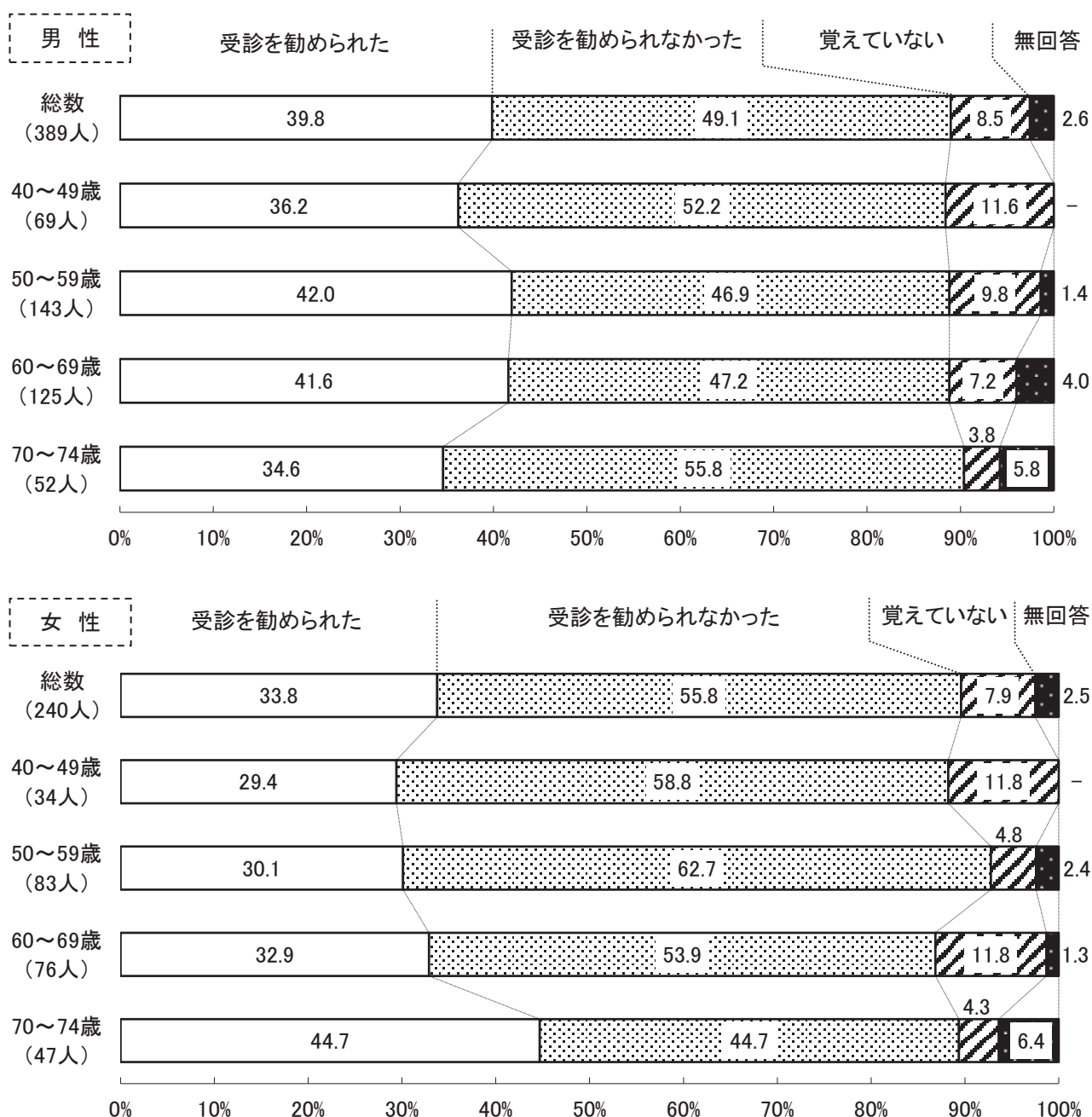
（注）検査目的の受診は除く。

(1) 医療機関受診勧奨の有無一性・年齢階級別

医療機関の「受診を勧められた」割合は、男性約4割、女性3割超

医療機関の受診勧奨の有無を性・年齢階級別にみると、特定健康診査の結果で指摘があった人のうち、「受診を勧められた」割合は、男性39.8%、女性33.8%となっている。(図Ⅱ-4-18)

図Ⅱ-4-18 医療機関受診勧奨の有無一性・年齢階級別



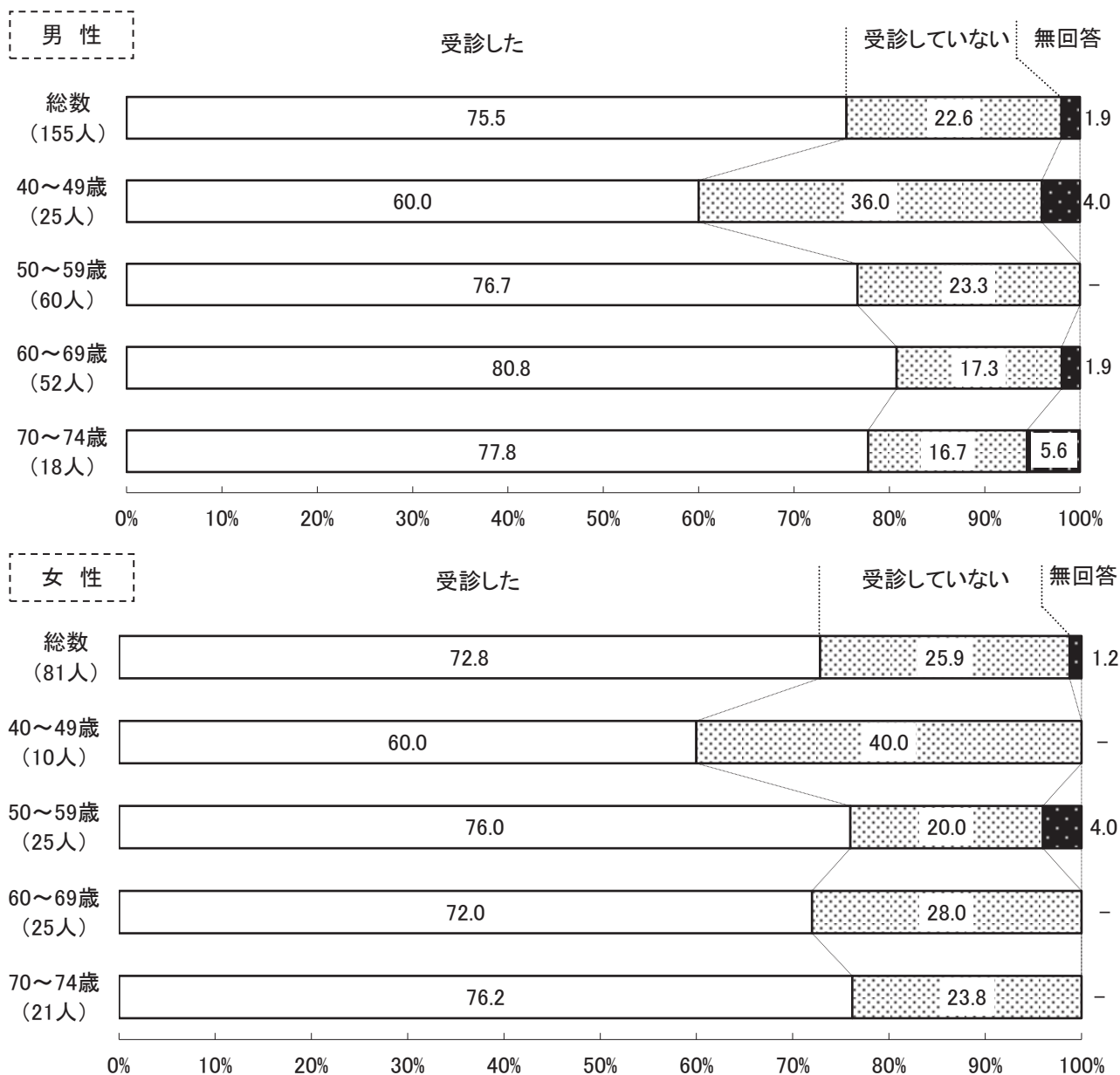
(2) 医療機関の受診を勧められた後の医療機関の受診の有無一性・年齢階級別

医療機関の受診を勧められて実際に受診した人の割合は、男女ともに7割超

医療機関の受診を勧められた後の医療機関の受診の有無を、性・年齢階級別にみると、「受診した」割合は、男性75.5%、女性72.8%となっている。

一方で、「受診していない」割合は、40代男性では36.0%、40代女性では40.0%となっている。(図Ⅱ-4-19)

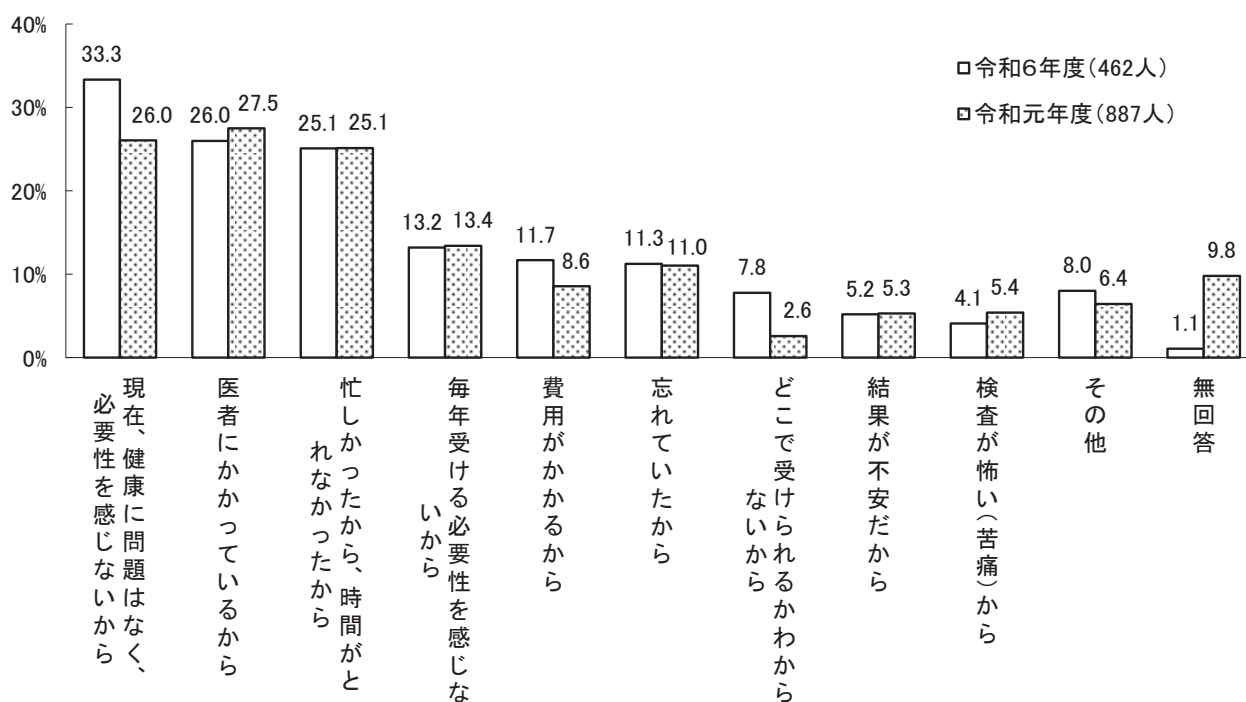
図Ⅱ-4-19 医療機関の受診を勧められた後の医療機関の受診の有無一性・年齢階級別



7 特定健康診査を受けなかった理由〔複数回答〕

過去1年間に特定健康診査を受けなかった人（462人）に、その理由を聞いたところ、「現在、健康に問題はなく、必要性を感じないから」の割合が33.3%、「医者にかかっているから」が26.0%、「忙しかったから、時間がとれなかったから」が25.1%となっている。（図Ⅱ-4-20）

図Ⅱ-4-20 特定健康診査を受けなかった理由〔複数回答〕



(1) 特定健康診査を受けなかった理由[複数回答]－性・年齢階級別

特定健康診査を受けなかった理由は、「医者にかかっているから」の割合が、70～74 歳では、男性 5 割超、女性約 6 割

特定健康診査を受けなかった理由を性・年齢階級別にみると、「医者にかかっているから」の割合は、70～74 歳では、男性 54.3%、女性 60.7%となっている。(表Ⅱ-4-6)

表Ⅱ-4-6 特定健康診査を受けなかった理由[複数回答]－性・年齢階級別

	総数	現在、健康に問題はなく、必要性を感じないから	毎年から受ける必要性を感じないから	医者にかかっているから	どこで受けられるかわからないから	検査がこわい(苦痛)から	忙しかったから、時間がとれなかったから	結果が不安だから	費用がかかるから	忘れていたから	その他	無回答
総数	100.0 (462)	33.3	13.2	26.0	7.8	4.1	25.1	5.2	11.7	11.3	8.0	1.1
男	100.0 (256)	35.9	17.2	23.4	8.6	2.0	23.4	3.5	13.7	12.1	5.9	1.2
40～49歳	100.0 (62)	45.2	12.9	—	14.5	1.6	35.5	4.8	17.7	24.2	8.1	1.6
50～59歳	100.0 (91)	36.3	14.3	19.8	6.6	4.4	27.5	2.2	14.3	11.0	7.7	—
60～69歳	100.0 (68)	30.9	19.1	33.8	8.8	—	11.8	4.4	13.2	5.9	4.4	1.5
70～74歳	100.0 (35)	28.6	28.6	<u>54.3</u>	2.9	—	14.3	2.9	5.7	5.7	—	2.9
女	100.0 (206)	30.1	8.3	29.1	6.8	6.8	27.2	7.3	9.2	10.2	10.7	1.0
40～49歳	100.0 (50)	32.0	6.0	12.0	16.0	6.0	38.0	14.0	16.0	18.0	12.0	—
50～59歳	100.0 (70)	30.0	5.7	22.9	4.3	7.1	31.4	4.3	5.7	10.0	11.4	—
60～69歳	100.0 (58)	29.3	10.3	36.2	—	5.2	20.7	5.2	8.6	8.6	13.8	3.4
70～74歳	100.0 (28)	28.6	14.3	<u>60.7</u>	—	10.7	10.7	7.1	7.1	—	—	—